



樋口与一朗議員

今後の介護保険と 介護予防への取り組みは

町長 どちらに重点を置いていくか ニーズを見て判断

■介護認定者の実数は

樋口 町の介護認定者の人数、サービス別の実績、待機も含めた白光園の現在の入所状況を伺います。

町長 平成23年4月末現在の介護認定者の総数は872人となっています。

サービス別の給付実績で要介護者への介護サービス等給付費は、総額11億2901万円です。また、要支援者に対する介護予防サービス等給付費は、総額6239万円となっています。白光園の入所状況は、平成23年5月末現在で定員110人に対し、入所申し込み者総数137人、27人（介護4・5）が待機という状況になっています。

■介護予防と調査内容のデータベース化

樋口 介護予防の徹底こそが喫緊の課題ではないかと考えます。また、介護予防は、高齢者が生き生きと生活を続けていく上でのプログラムであると考えます。現在、町では、厚生労働

省考案のチェックリストに沿って介護予防にかかる調査を実施していると思いますが、そのデータベース化による展開を提案いたします。

町長 介護保険事業の実施では、国が定める基本的指針にもとづき、本町においても医療、福祉関係者をはじめ、各団体の代表者の皆様の意見をいただき、実施しているところです。

また、データベース化は重要な要素であり、今後、管理運用していきたいと思っています。

■介護予防事業の周知方法は

樋口 介護予防事業の取り組み展開にあたり、その周知の方法について伺います。

健康福祉課長 広く一般の方や65歳以上の方々に参加していただく事業は、町報などで案内をしています。

※二次予防該当者には個別に指導し、一次予防の一般の方には、情報提供などや相談業務のなかで参加をすすめています。

■少子化・若者定住、高齢者政策は一体のもの

樋口 人口の下の支えの部分も含めて、少子化の問題と



楽しいひととき
(赤坂いきいきサロン)

子育て支援や若者の定住化が一体となって初めて、高齢者の政策というものが出てくると思うのですが、見解を伺います。

町長 一貫して子どもの数を減らさない、産み育てやすい環境づくりを展開してきたところです。また、働く場所の確保に努めていきたいと思っています。

高齢者が少しでも元気で頑張っていただけのような環境づくりに努めていきたいと思っています。

■今後の介護保険事業の方向性は

樋口 今後、施設の整備と介護予防のどちらにウェイトを置いていくのかの方向性について町長の考え方を伺います。

町長 どちらの方向ということではなく、どういうニーズが多いのか、時機を見定めながら、バランスという考え方のなかで取り組んでいきたいと思っています。

※ 該当者は、要介護状態などとなるおそれの高い状態にあると認められる65歳以上の人